

市民の声が市政を動かしました

要求実現

よかったね

子どものインフルエンザワクチン接種の助成 請願を全員賛成で市議会が採択



新日本婦人の会江南支部が、2600人の署名を添えて提出した「子どものインフルエンザワクチン接種への助成を求める」請願は、12月議会からの継続審査となっていました。

日本共産党議員団と新日本婦人の会のみなさんで、尾北医師会を訪問。子どものワクチン接種の助成に協力を依頼し、医師会からは「行政がお決めになれば協力する」

との力強い回答を得ていました。

3月12日の厚生文教委員会で「高齢者も助成制度があり助かっている。子どもにもできるとよい」など賛成意見が出され、3月議会最終日に全議員賛成で採択されました。

請願の採択を受け、今後は市が助成制度をしっかりと実施するよう求めていきたいと思います。



学童保育の夏休みの 利用期間が1日延長

夏休みの時だけ学童保育を利用している保護者から「2学期の始業式は、子どもが早く帰ってくるので仕事を休まなければならない、夏休みの延長として学童を利用できないか」との要望が寄せられました。



党議員団が議会で取り上げ、改善を求めました。

夏休みの学校休業日を「9月の始業式まで」に改めることになり、その結果、始業式の日も安心して学童保育を利用することができるようになります。

布袋ふれあい会館競技場の エアコン使用料が大幅減額

2時間 現行 1280円 → 170円に

12月議会一般質問で、布袋ふれあい会館3階競技場のエアコン使用料が「高すぎる」「他の施設ではエアコン使用料などとられないのに、なぜ」との市民の声を取り上げ、不当に高い使用料であることを綿密な計算のもとに明らかにしました。

再び3月議会で取り上げた結果、大幅な減額が実現しました。

2時間使用の場合のエアコン使用料は
現行 1280円 → 170円に
夜間は、1600円 → 210円に
に改定されました。これからも、
エアコン使用料をなくすように
求めていきます。





市議会議員

東 よしき

日本共産党

ぶれずに奮闘 市政を変革して 28年

中小業者運動が原点に

中小業者の営業と暮らしを守る民主商工会事務局員として5年の活動経験を生かし、中小企業振興基本条例制定に向けて奮闘。国民健康保険の減免規定の拡充などを進めてきました。また、市民からの生活相談には、社会的弱者に優しい目線で臨み、行政の支援につながるよう努力してきました。市民にとって頼もしい味方です。



税金のムダづかい許さない

ムダな公共工事にメス。過大な道路計画の見直し、鉄道高架事業に名鉄の応分の負担を求めるなど、税金のムダ使いを一貫して徹底的に追及しています。

議会改革の先頭に立って

議会改革特別委員会の委員長として、請願署名の押印廃止や「市民と議会の意見交換会及び報告会」を定期的で開催するなど議会改革に奮闘。経験と実績のある議員としてますます必要です。

日本共産党を伸ばして政治を変えよう

『消費税10%中止を』

「こんな経済情勢で増税を強行してよいのか」という危惧、批判が広がっています。富裕層や大企業は税制で優遇され、負担能力は十分です。日本共産党はそこに応分の負担を求めていきます。

『9条改憲は許さない』

「海外での無制限の武力行使」という9条改憲の真の狙いを広く明らかにし、安倍首相による憲法9条改定の野望を阻止しましょう。

日本共産党は平和憲法9条を守り、憲法を暮らしに活かす政治を目指します。

『原発ゼロの日本を』

安倍政権の原発推進政策が大破綻に陥っています。

日本共産党は「原発ゼロの日本」「再生可能エネルギーへの大転換」を求めています。

2019年4月号 NO. 432
日本共産党江南市委員会
電話 55-9890

あすの江南